

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

EN変換コネクタ

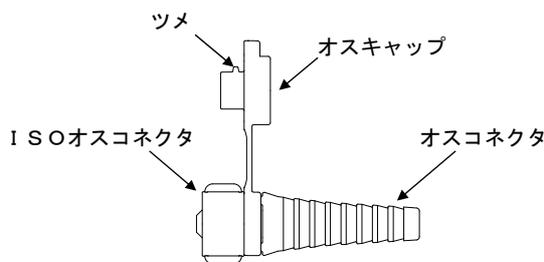
(タイプB)

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構造図〉



- ・ ISOオスコネクタは ISO 80369-3 に適合している。
- ・ オスコネクタは医薬発第 888 号に適合している。

〈原材料〉

構成部品	原材料
ISOオスコネクタ	ポリプロピレン
オスコネクタ	ポリプロピレン
オスキャップ	スチレン系熱可塑性エラストマー

【使用目的又は効果】

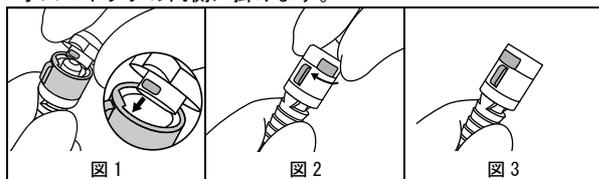
胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤等を投与する器具である。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 本品のオスコネクタを栄養カテーテル等の医薬発第 888 号に対応したメスコネクタに確実に接続します。
3. 栄養剤等をチューブ内に満たした栄養投与セット等の ISO 80369-3 に適合したメスコネクタに、本品の ISO オスコネクタを緩みや外れが生じないようにしっかりと接続します。
4. 本品から栄養投与セット等を取り外した後、必要に応じて本品のオスキャップを次の手順で閉じます。

〔オスキャップの閉じ方〕

- (1) ツメを ISO オスコネクタの凹部に差し込み (図 1)、隙間なく閉じます (図 2)。
- (2) 図 3 の位置までキャップをひねり (約 30 度)、ツメを ISO オスコネクタの内側に掛けます。



〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. ISO オスコネクタを接続する際は、過度な締めつけをしないこと。〔コネクタが外れない、又はコネクタが破損するおそれがある。〕
2. コネクタのはめ合わせ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。〔接続部に緩みが生じるおそれがある。〕

3. 本品から栄養投与セット等を取り外す際は、ISO オスコネクタ部分を持ち、取り外すこと。〔本品と栄養カテーテル等の接続部が緩み、外れが生じるおそれがある。〕

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中はコネクタの接続の緩み、液漏れ、破損、閉塞等の異常がないことを定期的を確認すること。
2. 粘度が高い又は不溶解物を含む栄養剤等を投与する場合、流量の管理に十分注意すること。〔詰まり等により、流量に変化が生じるおそれがある。〕

〈不具合・有害事象〉

- その他の不具合
固着、外れ、緩み、詰まり、破損、漏れ

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

- 3年〔自己認証(当社データ)による〕
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先
TEL 082-243-5806